

箱根旧街道甘酒茶屋から芦ノ湖へ

日時：2019年11月2日（土） 天候：晴 歩数1万歩 歩行距離6km

集合：箱根湯本駅9時30分

コース：箱根湯本駅バス停4番乗り場9時45分元箱根港行き（バス）→甘酒茶屋バス停→箱根旧街道石畳道→権現坂→杉並木歩道橋→興福院→鳥居→元箱根港→一里塚（江戸から24里）→箱根旧街道杉並木→恩賜公園（昼食）→箱根関所跡→東京箱根間往復大学駅伝競走往路ゴール標識→箱根町港バス停（バス）→箱根湯本駅バス停→箱根湯本駅→小田原駅

参加者：A班 佐藤よ 吉越 熊坂 小野里 平山 小林 福士（班長） 澤 岩元 吉田正 菊池（一般）
B班 勅使河原 平石 高橋文 青松 新谷 河野（SL） 市村（L） 脇坂（SL） 内海（班長）
原田 廣田（一般） 22人

気象庁が10月7日に「箱根山の（箱根町）の火山活動が沈静化し、大涌谷で噴火の起きる可能性が低くなった」として、噴火警戒レベルを約4ヵ月ぶりに2（火口周辺規制）から1に（活火山であることに留意）に引き下げられ、箱根は紅葉シーズンに向けて観光、同時にハイキング環境が整いました。

ところが10月12日、大型で強い台風19号が伊豆半島に上陸、関東を縦断して13日には三陸沖を北東に進み、東海、関東甲信越、東北では記録的な大雨。箱根町では、降り始めからの総降水量が1000ミリを超える全国最多を記録。箱根登山鉄道は、土砂崩れによる橋脚流失などで箱根湯本駅～強羅駅間は不通。小田原駅～箱根湯本駅間が10月14日に復旧し、バスがほぼ通常運行になる中でのウォーキング実施となりました。



箱根登山鉄道箱根湯本駅～箱根湯本駅バス停～甘酒茶屋バス停

箱根登山鉄道箱根湯本駅改札には、大名行列を翌日に控えて籠が展示されていました。集合時間9時30分に2人遅刻。バス停方面へ降りて行くと、バス会社職員が行先案内と整列を呼びかけています。鉄道の強羅方面が不通になっているので代替え輸送のバスは大混雑。私たちが乗る旧街道線は通常運転で9時45分に発車。その時、青松さんが乗っている電車がホームに到着。バスは10時12分に甘酒茶屋バス停へ。河野SLがストレッチリーダー、石畳ウォークですので捻挫防止を入念に。甘酒茶屋をバックに出発集合写真。そこへ、1本遅れのバスで青松さんが悠然と到着、今日の参加者22人全員が揃ったところでもう一度集合写真を撮りました。



河野S Lを先頭に甘酒茶屋出発～石畳道～展望台～箱根旧街道最高地点

江戸時代、徳川幕府は人々や物資の往来が盛んになるように街道の整備を行いました。東海道はその中でも主要な街道で、この箱根地域は道が大変険しく、当時の旅人が普通1日10里を歩くところを箱根は8里しか歩けなかったようです。道中には「甘酒」をふるまう茶屋が設けられるようになりました。その甘酒茶屋を10時35分に出発。河野S Lを先頭に、80歳代の小野里さん、佐藤伊亮さんも元気です。

国道を横切ると本格的な石畳道、箱根旧街道の看板があり少し上り坂の斜度が急になりました。15分程上り展望広場で水分補給、二子山が近くに見えました。展望広場を下り、また少し上るとこの道の最高地点です。



最高地点～権現坂～杉並木歩道橋～興福院～鳥居→元箱根港～一里塚

最高地点付近に「石畳み」についての説明板があり「江戸時代の初め、それまで尾根伝いを通っていた湯坂道に替わり、須雲川に沿った谷間の道が東海道として整備されました」と書かれていました。

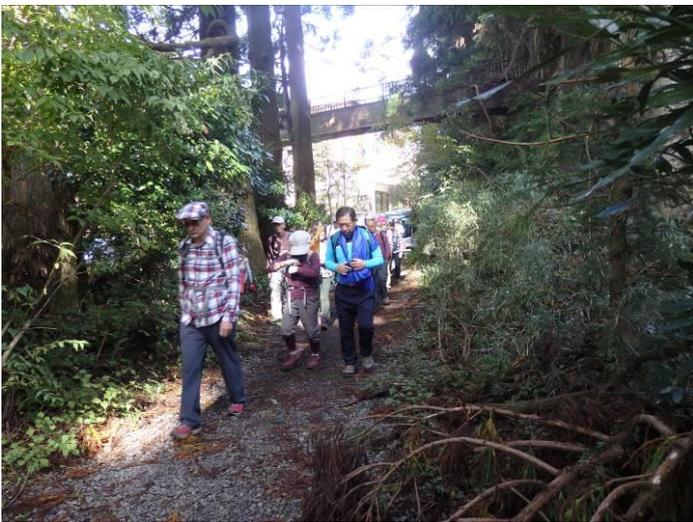
15分ほど下ると権現坂です。小田原から箱根路を上る旅人がいくつかの難所をあえいでたどり着き一息つくところで、目前に芦ノ湖が見えました。ここから石畳道を慎重に下りて行くと杉並木歩道橋。階段を下りると興福院の境内です。国道1号線を芦ノ湖沿いに南へ進むと大きな鳥居、右手は元箱根港です。11時50分、江戸から24里の杉並木入口一里塚到着。小休憩して水分補給、飴などの差し入れが美味しい。



一里塚～箱根旧街道杉並木～1号線～恩賜箱根公園～東屋で昼食

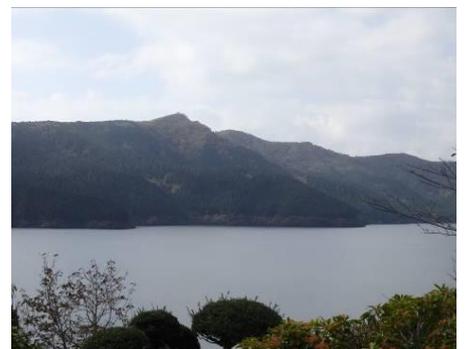
元箱根から恩賜箱根公園まで約500m続く箱根旧街道の杉並木は、1618年(元和4年)、幕命によって川越城主の松平正綱が植林したと伝えられています。400本を越える樹齢400年近くの杉が連なり、夏の強い日差しや冬の寒風から旅人を守っていました。なかには幹回り4mの大木もあります。

100mほど歩いたところで、台風の影響で通行止め(2枚目の写真は下見のときの写真)。やむなく1号線に出て、恩賜公園に入りミニ杉並木道を楽しみました。恩賜公園中央門から高台の中央広場へ向けて歩きました。広場にある湖畔展望館の前を通り、200人は入れそうな巨大な東屋へ、ここで昼食です。時間は12時20分。



洋風建築様式の湖畔展望館前で集合写真～箱根の山々を眺望

1930年（昭和5年）の北伊豆地震によって倒壊した箱根離宮跡地は、1945年に神奈川県に下賜されて県立都市公園として整備されてきました。現在の湖畔展望館は、かつての西洋館御殿にちなんだ洋風建築様式を、休憩所は日本御殿の和風建築様式をデザインに取り入れています。展望館の前で集合写真を撮りました。箱根の山々を眺めることができましたが、富士山は雲がかかりときおり山頂が少し見える程度でした。



中央広場～弁天の鼻展望台～中央門～箱根関所資料館～箱根関所跡

13時5分、湖畔展望館のある中央広場をスタートとして、弁天の鼻展望台へ。しばらく芦ノ湖や箱根の山の景観を楽しんだ後、メインルートを中心に中央門へ戻るコースと湖畔路を歩く健脚コース組に分かれました。メインルート組が中央門へ戻り、7～8分ほどして健脚コース組が元気よく戻ってきて合流しました。

箱根関所資料館方面へ下ります。今回は入場しません。吉越会長は、来年の全国ウォークの団体割引のなどを調べていたようです。海賊船が運行していました。横断幕のゾウのイラストは、江戸時代にここをゾウが通ったことを知らせています。資料館脇を抜けて箱根関所跡へ、矢場がありました。



江戸口御門～京口御門～駅伝ゴール標識～芦ノ湖湖畔～箱根町港バス停

箱根関所は、江戸幕府によって山と湖に挟まれた交通の要衝に、江戸の防衛のために作られました。「入り鉄砲と出女」を厳しく取り調べていました。江戸口御門から入ると左手に足軽番所、右手に大番所、ここも見学はせずに京口御門を抜けて集合写真を撮りました。東京箱根間往復大学駅伝コースの1号線を歩き、往路ゴール標識へ。駅伝ミュージアム売店でお買い物タイム。芦ノ湖湖畔は台風の被害がないような長閑な様子、この日の女性参加者8人の記念写真。クールダウンをして、吉越会長が「来年11月に箱根で全国ウォークを開催します。大勢の方の参加をお待ちしています。12月には下見も実施します」とあいさつ。14時5分箱根町港バス停へ。14時23分発の箱根新道線バスで山を一気に下り、14時55分に箱根湯本駅へ着きました。



箱根駅行 For Hakone-Yumoto Sta./Odawara Sta.			
	土・休日	Sat. Sun. & Holiday	
11	53		
12	23	53	
13	20	33	
14	03	23	35* 43
15	05*	13	33* 45* 53*
16	13	28*	38* 48*
17	03	23	43* 45*

ります。Stops at Shin-Hatajukubashi ●=当停留所始発。Starts from here
す。Can use Hakone Freepass and Hakone Kyukaido Line and Route 1 ticket

歩数は1万歩丁度。甘酒茶屋から石畳道の上下り&100mほどでしたが芦ノ湖湖畔の杉並木道を歩き、箱根町港へ。草鞋で歩きたいにしえの人に思いを馳せて、1里半ほどを歩きました。(いちむら記)